

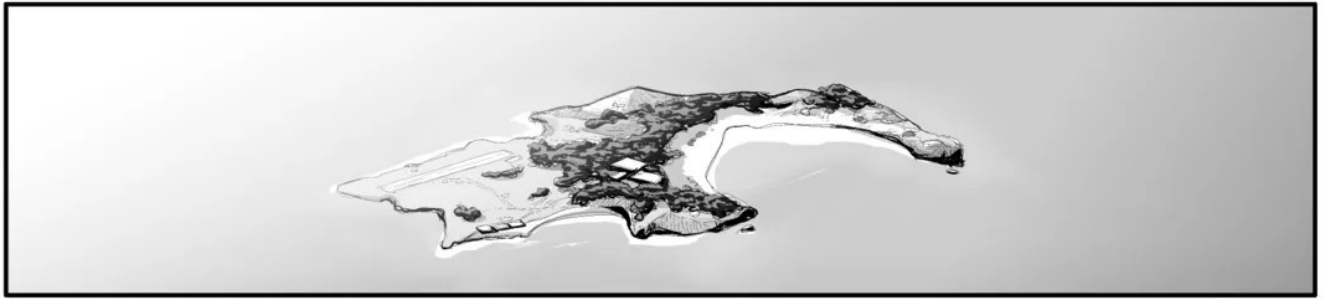
SHICHITEN-BATTOU

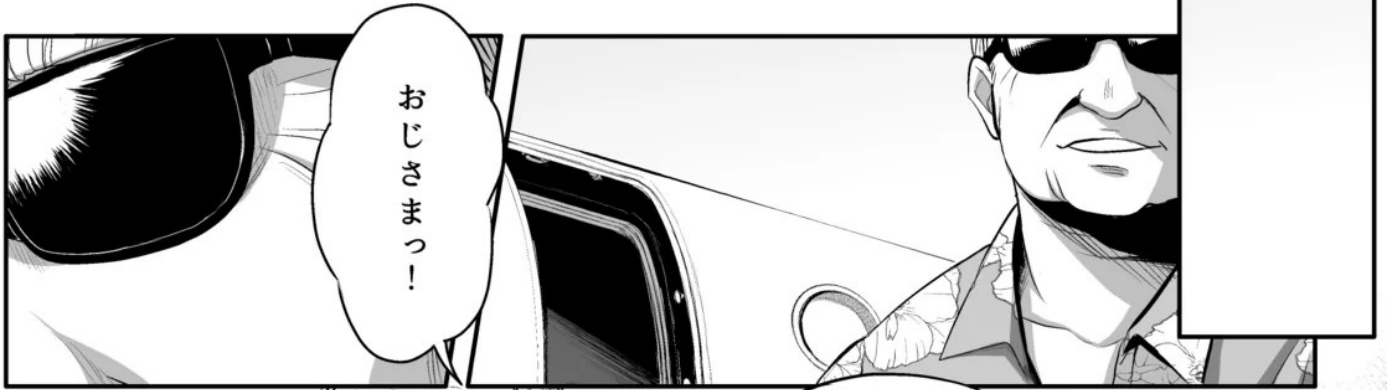


# 天国に一番近い島

The song of the little bird trapped on that island reaches no one.

for adult only





おじさまっ！

ステイーナ

遅くなつて  
ごめんね

わざわざ  
迎えに来て  
くれたのかい？

ははは  
ありがとう

だつて  
おじさまに  
会えるのが  
楽しいだつた  
んです

こんな所で  
立ち話もなんだ  
早速行こうか

はいっ

南海に  
ボツンと佇む  
その島は

とある富豪が所有する  
地図にも載っていない  
完全なる  
プライベートアイランド

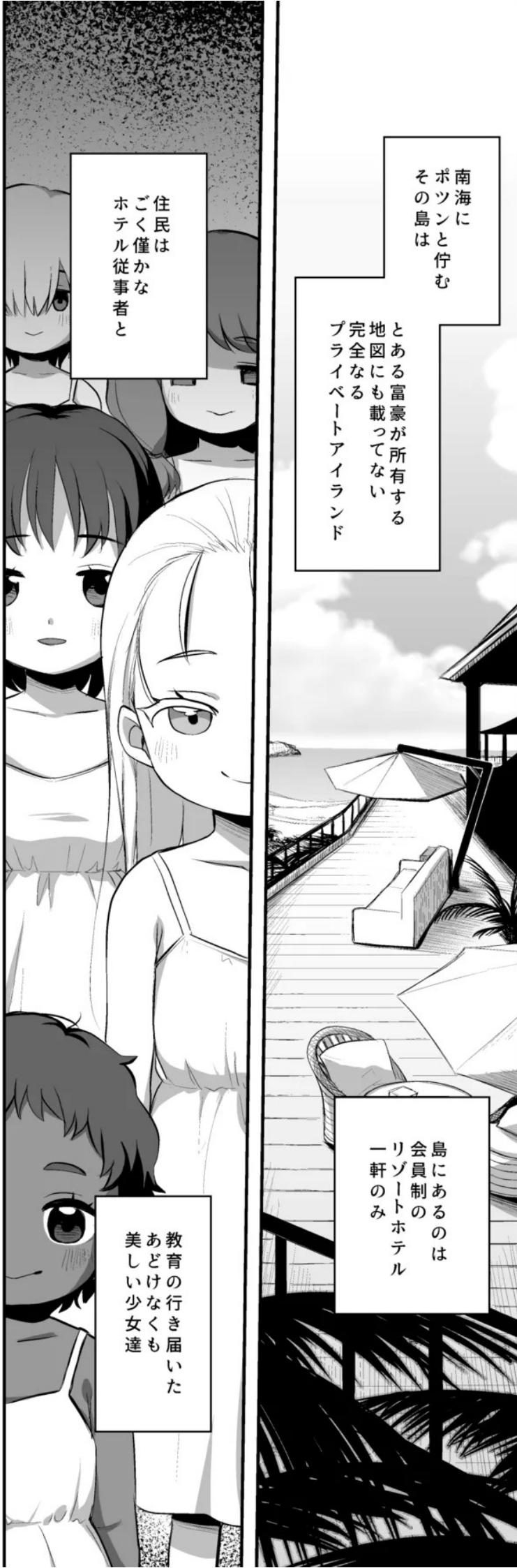
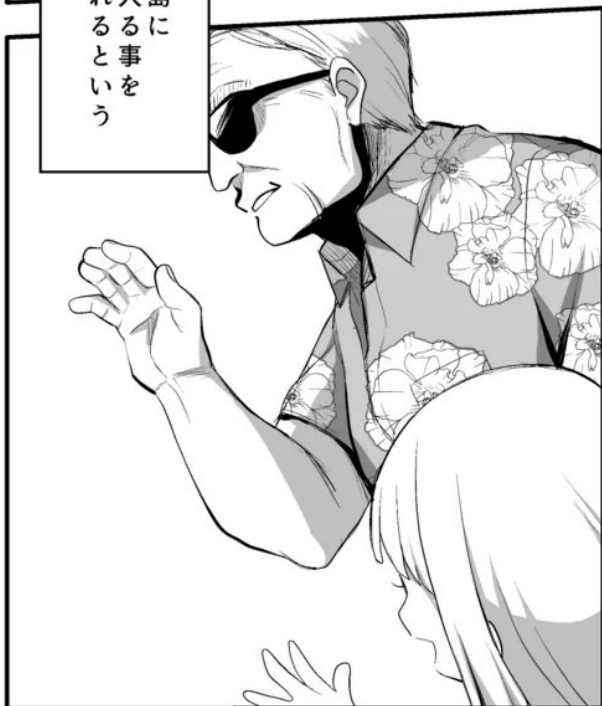
島にあるのは  
会員制の  
リゾートホテル  
一軒のみ

住民は  
ごく僅かな  
ホテル従事者と

教育の行き届いた  
あどけなくも  
美しい少女達

『彼』に認められ  
莫大な会費を支払った  
世界でも有数の  
セレブのみが

その島に  
立ち入る事を  
許されるという



ここは  
いつ来ても  
最高だね

俗世の煩わしさも  
虫の様に纏わりつく  
メディアもない

ただ波音を  
聞きながら

天使の様な  
少女達と過ごす

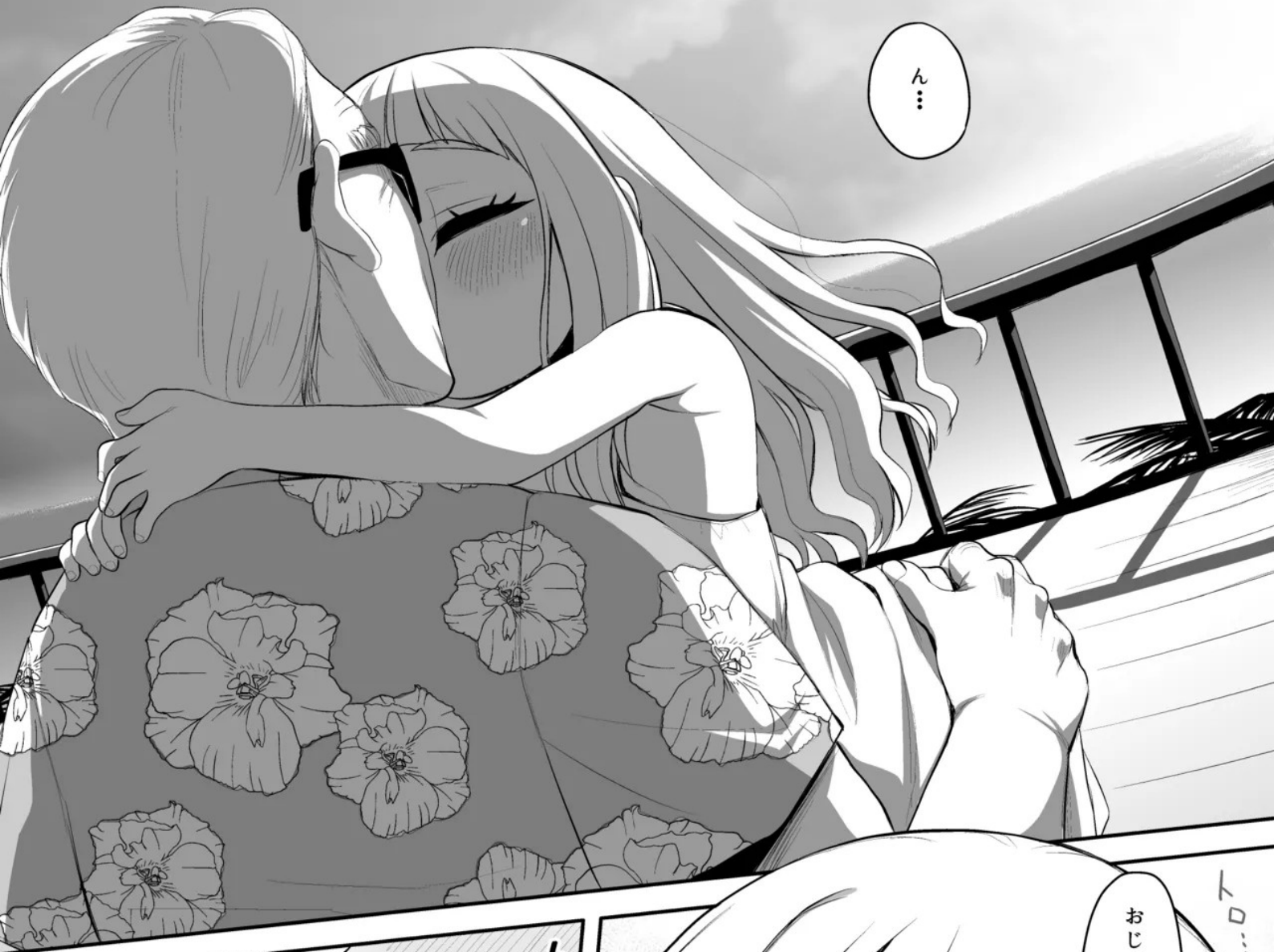
私の人生  
唯一の癒しだよ

おじさまは  
偉い方なんでしょう？  
きつと毎日お仕事で  
お疲れでしょうから

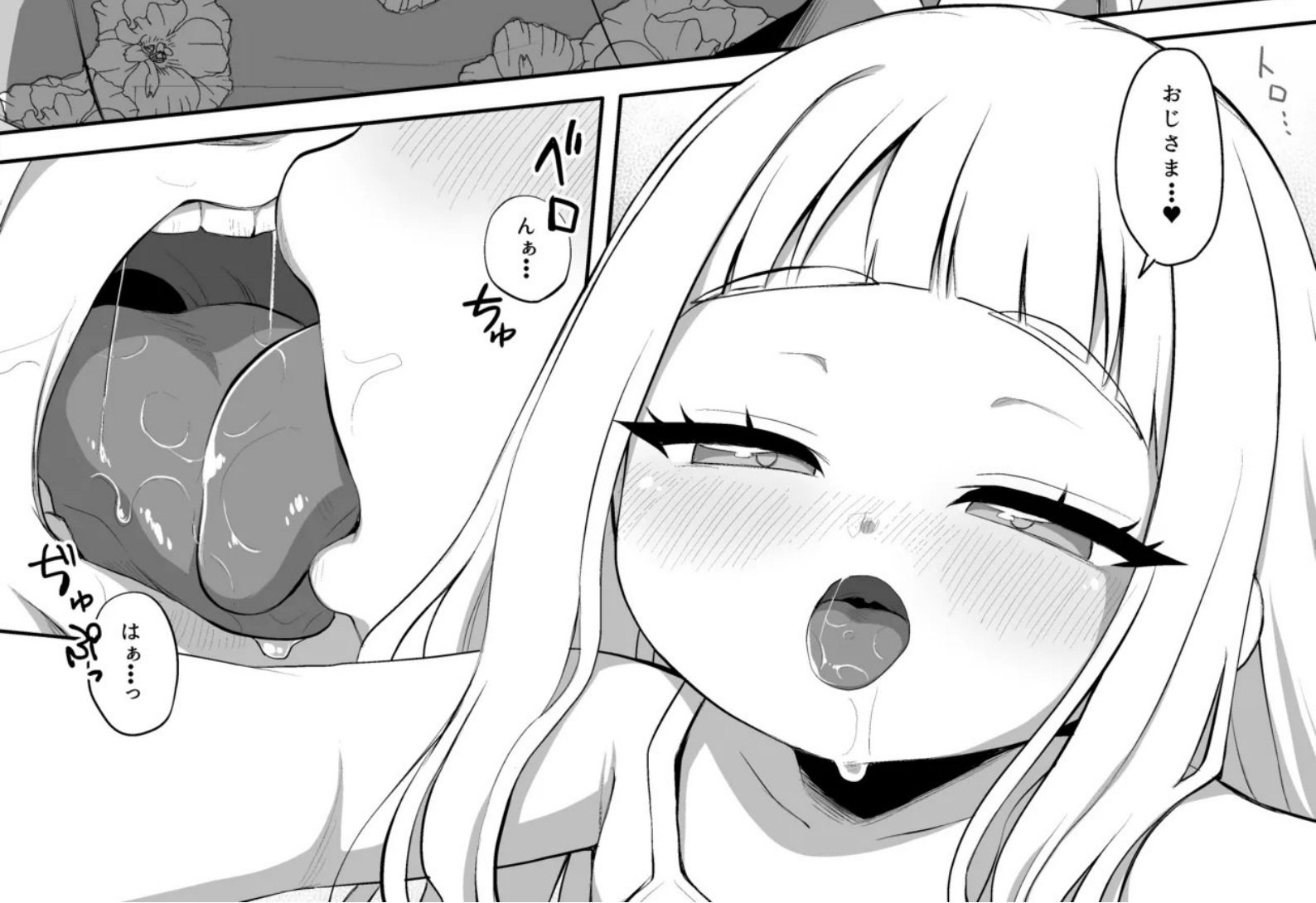
せめて  
ここにいる間は  
ゆっくりと  
お休みになって

ありがとう

ステイナは  
優しいね



ん…



おじやま…♥

んあ…

ちゃ

はあ…う



ふふふ  
どうですか？  
少しはおじさまの  
疲れを癒すことが  
できましたか？

ふう...

ふあ...

ほ...



おやおや  
いつの間  
にそんな  
表情を  
するよう  
になった  
んだい？

キミと初  
めて会  
った時  
はあんな  
に小さ  
かったの  
に...

あら  
おじさま

私だっ  
ていつ  
までも  
子供じ  
ゃあ  
りませ  
んのよ

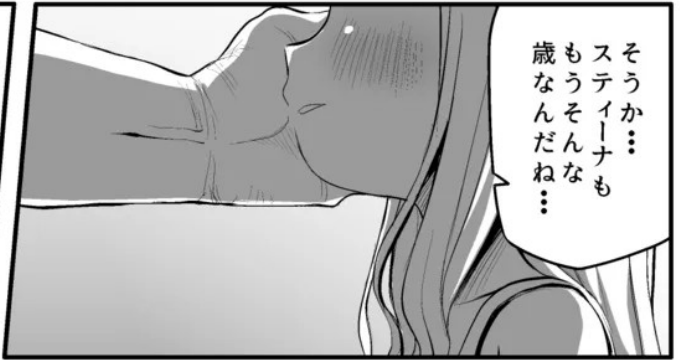


おじさま  
私  
先月  
ね

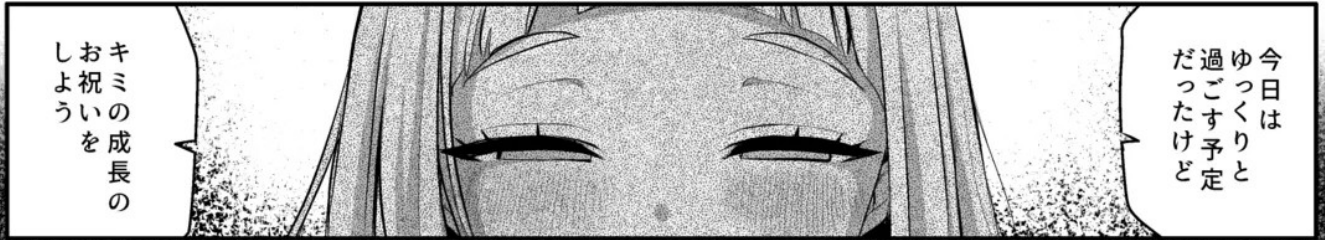
女  
にな  
った  
のよ



娘の頃を  
子供の頃を  
思い出すよ

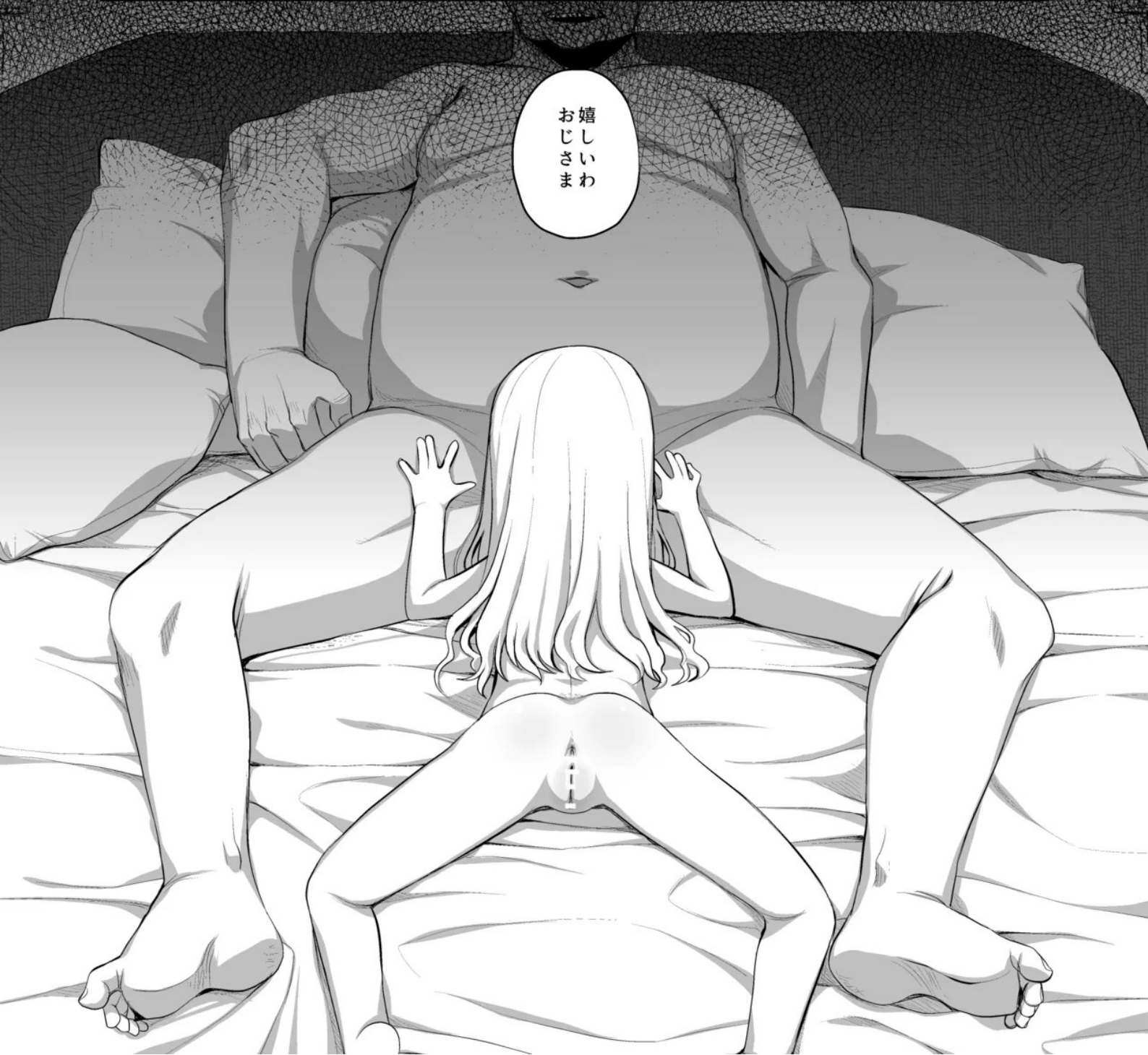


そうか…  
ステイナも  
もうそんな  
歳なんだね…



今日は  
ゆつくりと  
過ごす予定  
だったけど

キミの成長の  
お祝いを  
しよう



嬉しいわ  
おじさま



舐めるのも  
すっかり上手に  
なったね

ふふっ  
おじさまに教えて  
貰ったんですもの  
当然よ

ん  
ろっ

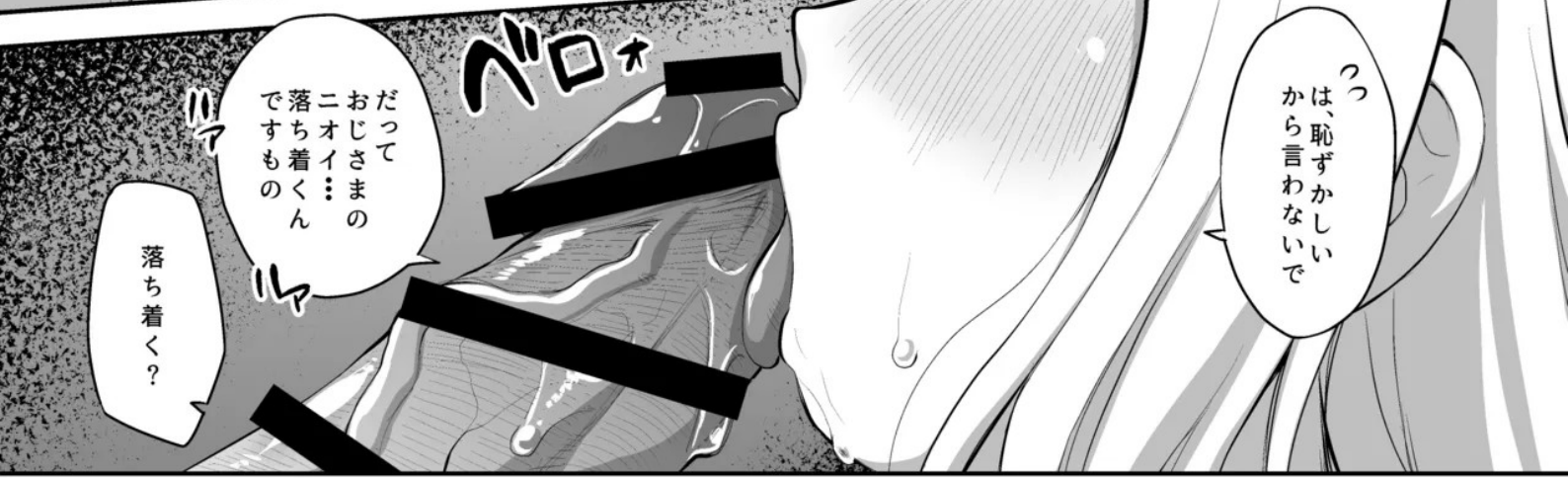
ちゅっ



んっ…ハア…  
おじさまの  
ニオイ…♡

がっ  
ろっ

ステイナは  
臭いを嗅ぐの  
好きだね



っっ  
は、恥ずかしいで  
から言わないで

ペロッ

だって  
おじさまの  
ニオイ…  
落ち着くん  
ですもの

落ち着く？

ハッ

ハッ

私には  
発情した雌の顔に  
見えるよ？

っ  
♡

おっと  
それ位で  
いいかな

このまま  
口に出すのも  
勿論良いが…

言つたろう？  
今日は  
ステイナが  
成長したお祝いだ

ふふっ

ええ  
おじさま

私も  
先月からずっと  
待ち遠しかったの

だって…

今までは  
ただ私の奥に  
おじさまを  
ぶつけて頂く  
だけでしたけど…

これからは  
ちゃんと

おじさまを  
受け止めて  
差し上げる  
つもりですもの

子宮で





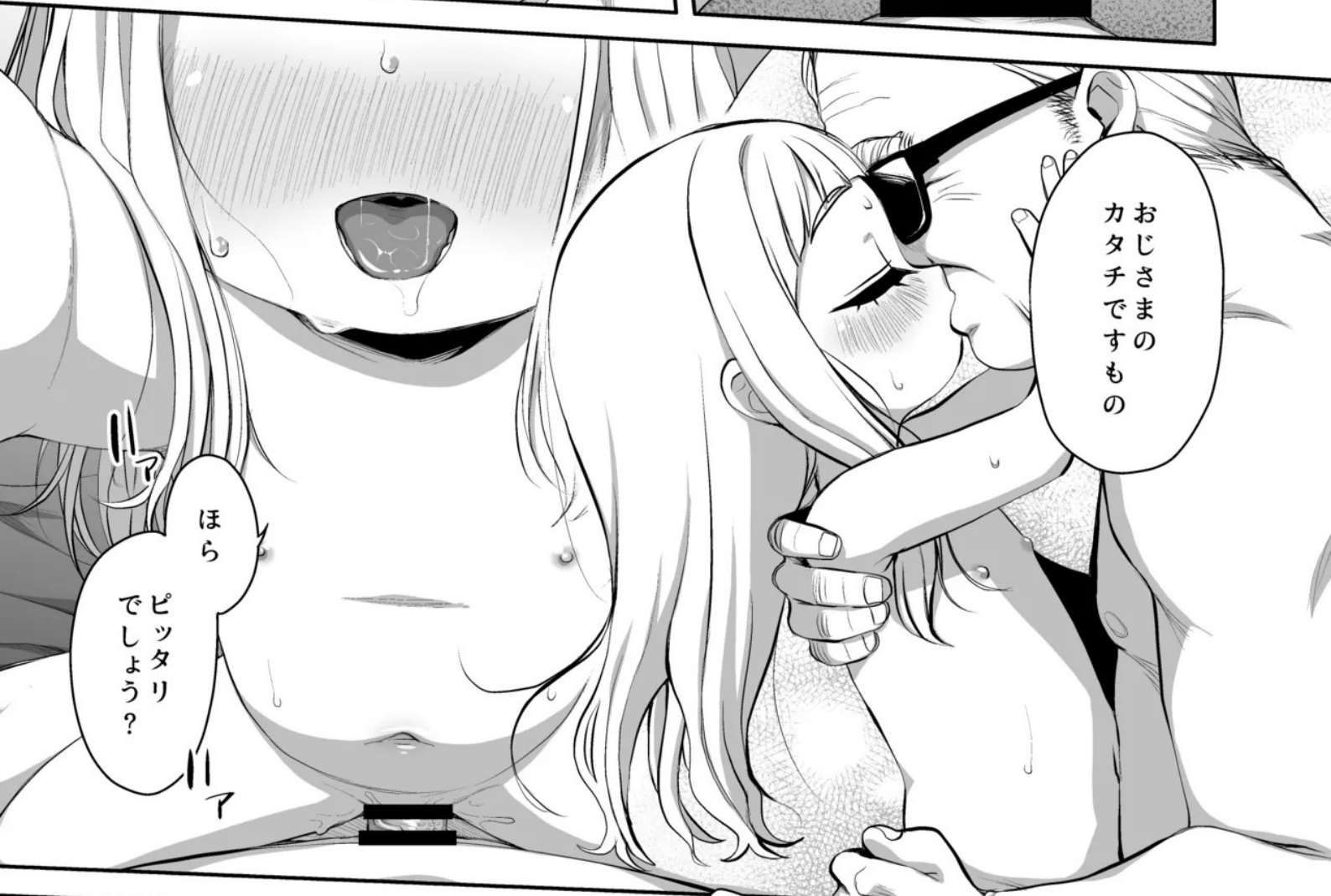
ええ心配  
いらなわ

だって私のは  
初めてから  
ずっと...



うんっ...

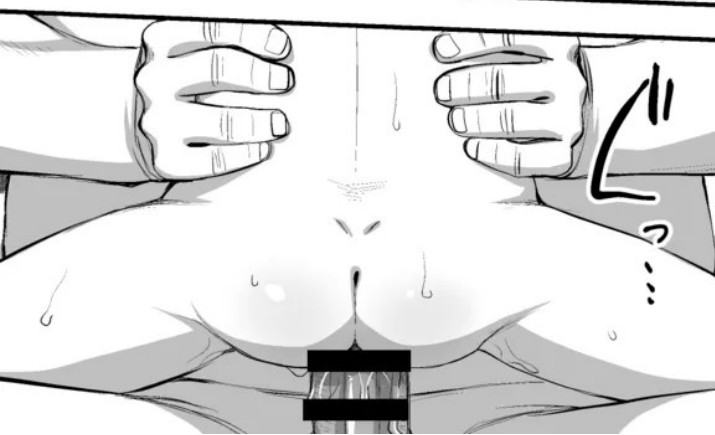
大丈夫かい？



おじさまの  
カタチですもの

ほら

ピッタリ  
でしょう？



はは  
そうだね

...おや？  
ステイナ



分かるだろう?  
ここが一番奥だよ

今日は特別だからね

一人前の  
レディになった  
ステイナの

おじっ  
おっ  
一番奥に  
ちゃんと  
届けないとね

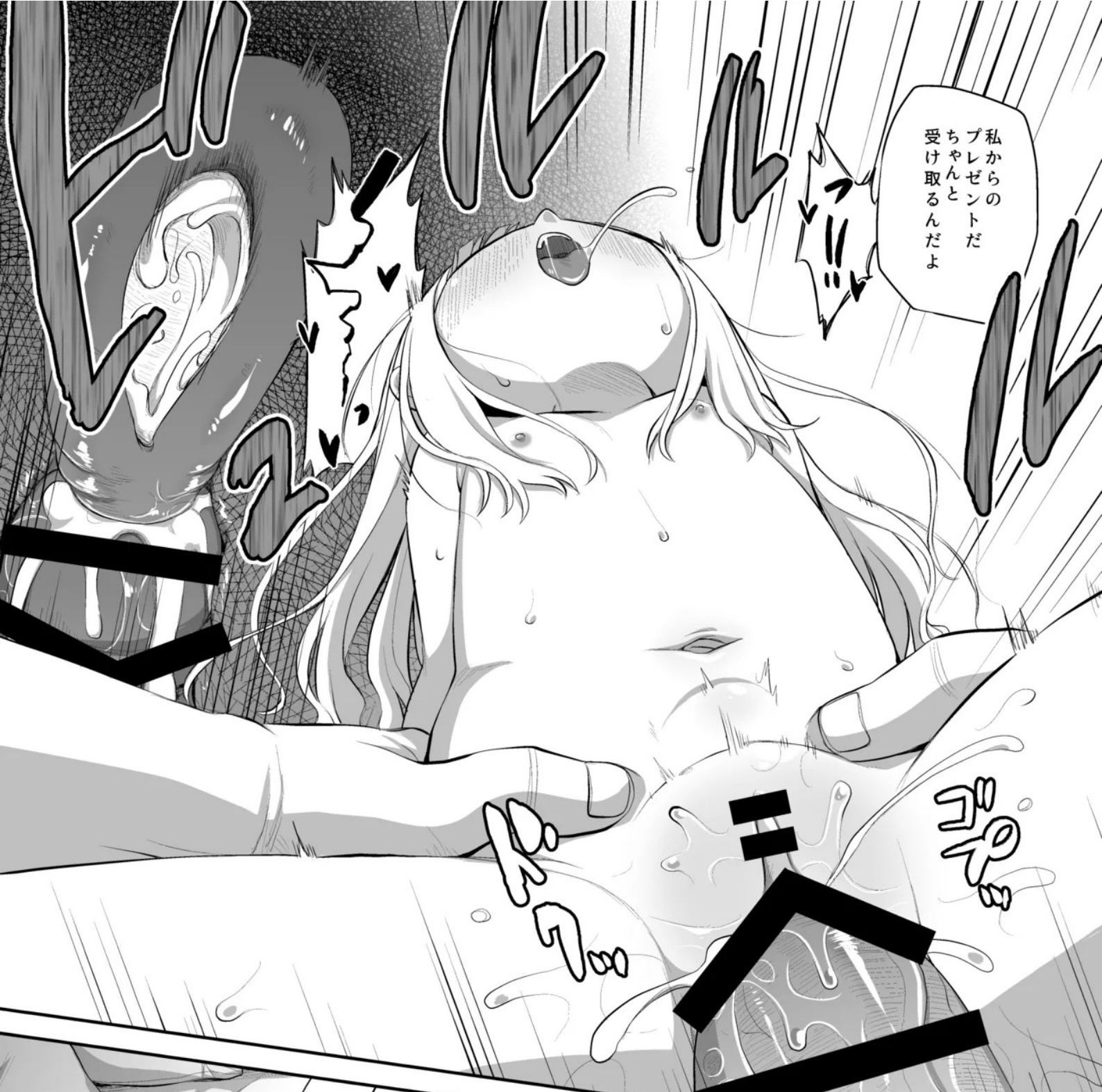


まだ奥に隙間があるみたいだ

おっ  
おっ

おっ  
おっ

私からの  
プレゼントだ  
ちやんと  
受け取るんだよ



ふう：  
年甲斐もなく  
ガッツいて  
しまったよ

悪かったね  
ステイナ

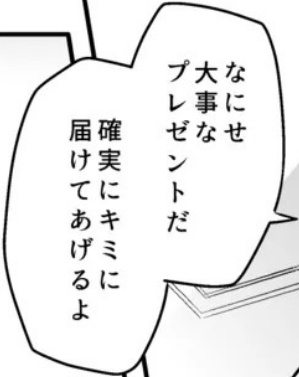
一人前のレディに  
なったとはいえ  
まだまだ  
小さな身体だ

全部を  
受け止めるのは  
難しいかも  
しれないね





はい…  
おじさま…



なにせ  
大事な  
プレゼントだ  
確実にキミに  
届けてあげるよ



でも  
安心して  
いいよ  
ステイナ



おじさまの  
赤ちゃん…  
私に  
お恵み下さい



たえ  
溢れ  
確実  
に  
妊  
娠  
に  
よ  
う  
に  
で  
き  
る

あ  
あ  
勿  
論  
今  
日  
は  
顔  
も  
口  
も  
お  
預  
け  
だ

何度でも  
臆内かに注いで  
あげよう

ビク  
ビク

ハハ  
ハハ

嬉しいかい  
ステイナナ？

ほん、  
ほん、  
ほん、

私の方こそ  
そうさ

キミへの  
プレゼントと  
言ったけれど  
むしろ私なんだ

私はね

ほん、

ほん、

娘を私自身で  
孕ませて  
あげたかったんだ

ぽんっ

おじ  
さまっ

っっ

完全な  
私のモノに  
したかったんだ

ぽんっ

あっ  
ぐぐぐ  
ぐぐぐ

代わり  
にキミ  
がそれ  
を

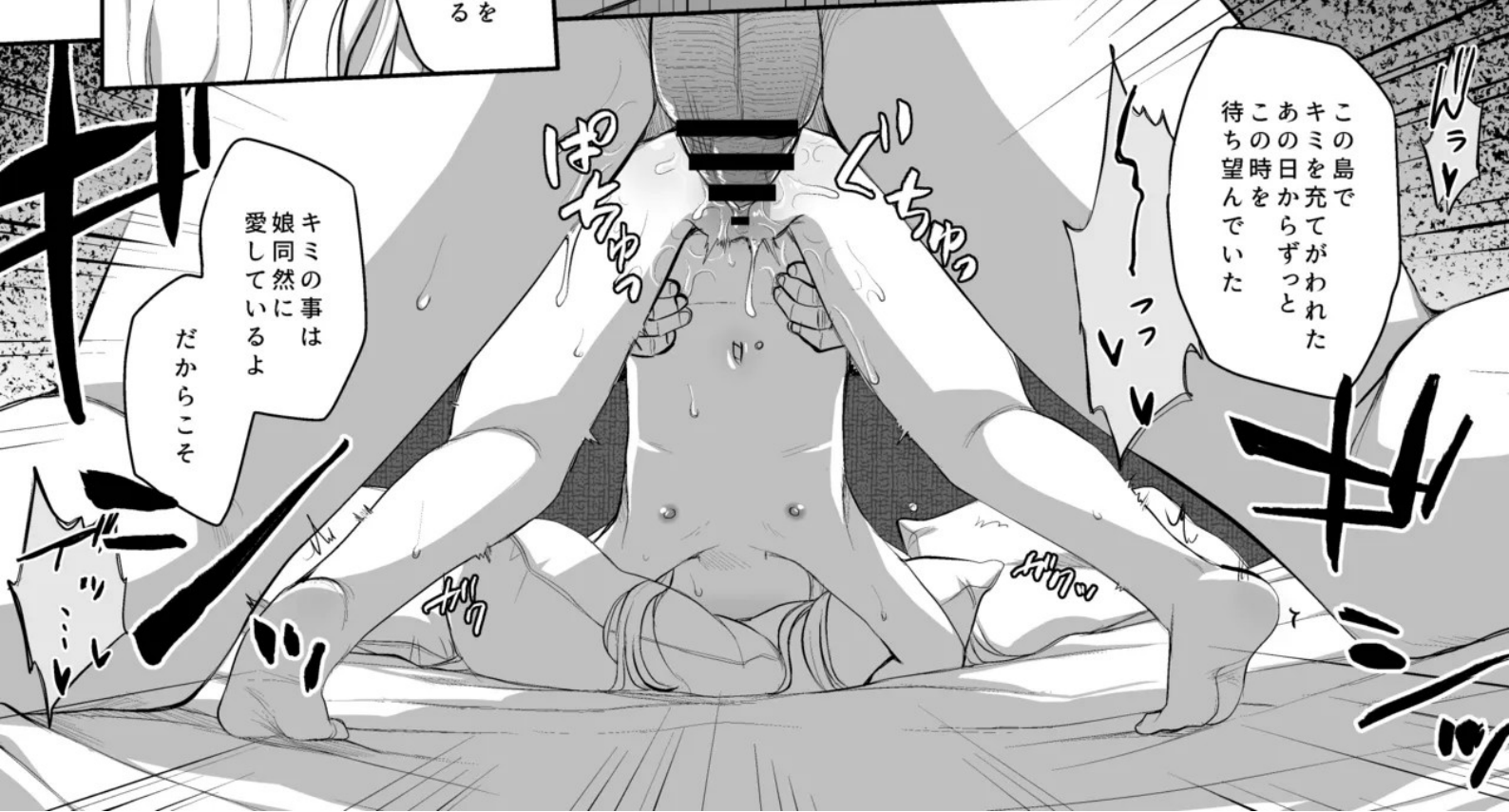
この島で  
キミを  
充てが  
われた  
あの日  
からず  
っと  
待ち望  
んでいた

キミの  
事は  
娘同然  
に愛し  
ている  
よ

だから  
こそ

ぽんっ  
ぐぐぐ  
ぐぐぐ

それは  
叶はず  
の願い  
だった  
が...





私の子を産むんだ...!

バブル

バブル



いい顔に  
なったね  
女の顔だ

メス...  
ですか...?

ああそうだ  
私の雌だ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



おっと...  
流石にハード  
だったかな?

お...おじさま...  
ごめん...なさい...  
力が入らな...

いいんだよ...  
さあ...おいで

ちゅ

ちゅ



愛してるよ  
ステイナ



娘として  
雌として

おじさま...ま...  
ニヤ...



キミと私の  
子供はなに  
なるのね？

キミはどんな  
お母さんかな？

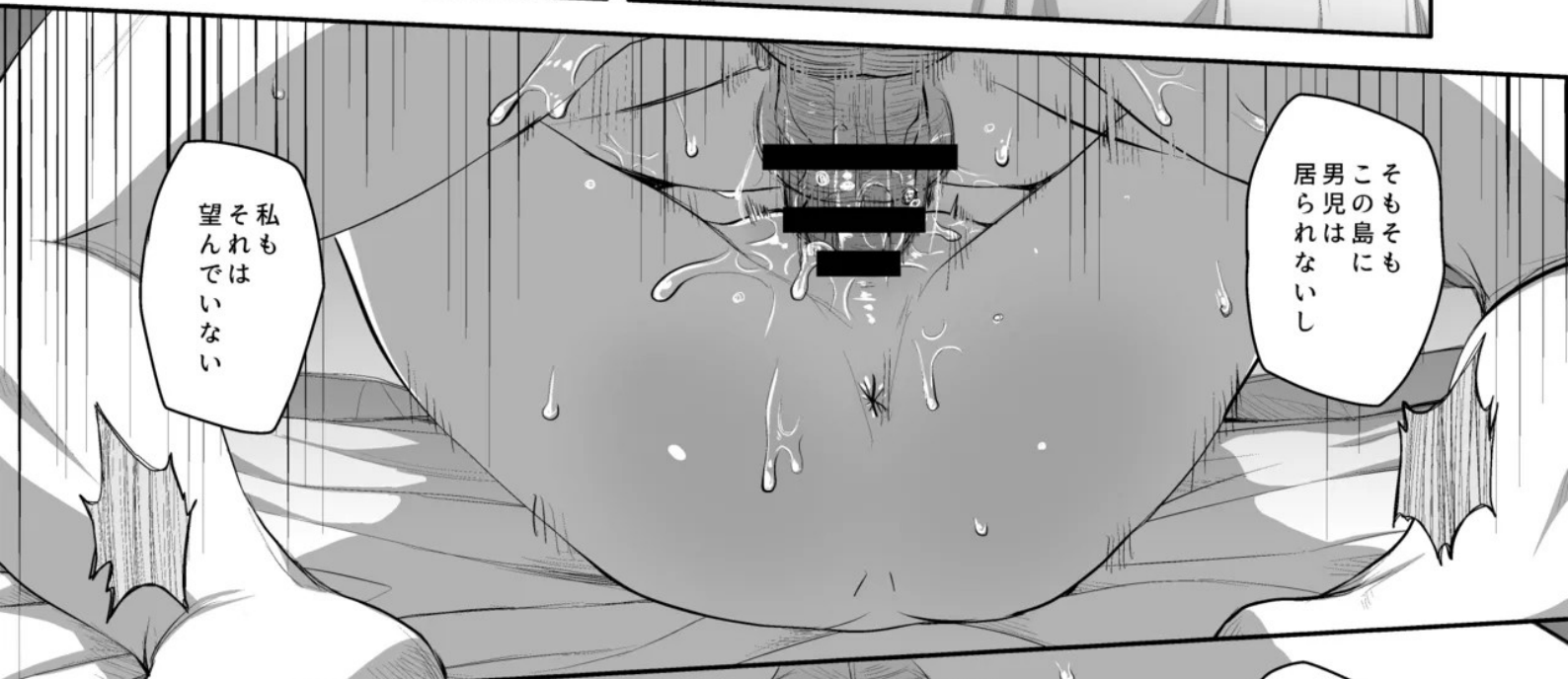
おじさま...ま...  
ニヤ...

おじさま...ま...  
ニヤ...



これは  
当然だが…

ちやんと  
女の子を  
産むんだよ  
ステイナー



そもそも  
この島に  
男児は  
居られないし

私も  
それでは  
望んでいない



娘ならば  
この島で  
暮らせるし

キミの娘なら  
きつと  
美しい女の子に  
育つだろう  
からね



そうしたら  
私とキミと  
娘の三人

深い愛情で  
繋がれる  
はずだよ



オイ  
近づき過ぎだ!

おっと  
危ない危ない...

あれが  
噂の島  
ですかい

ん? ああ...  
お前は  
こっち初めて  
だったか

話には聞いて  
いましたがね...  
金持ちのリゾート  
だとか何とか

覗きに行こう  
だなんて  
思ふなよ

近づいたら  
問答無用で  
撃たれるぞ

んな無法な

この国では  
法律より  
神様より

金が  
偉いんだよ

ハハッ  
そりゃ  
違いな

金持ちの  
リゾートか...

きっと  
天国みたいな  
場所なんだろうなあ





あとがき

ミヤサカタカジです。  
でっかいお風呂でのびのびしたいです。

今回は南の島のプライベートリゾート。  
テーマは早くに決まっていたんですが如何せん中身が定まらず。  
12月に入ってようやく作業開始するもどうしたものやらと。  
何となくハーレムモノでストーリー性とかはない感じの〜とっていたんですが  
どういう事かこんな感じになりました。うーんこれがライブ感。  
ねっちょりした物語にするならもっとページが欲しい所ですがスケジュール的にこれが限界で。  
まあ何とか形になったから良しとしましょう。

ふんあいたい  
納税のイラ



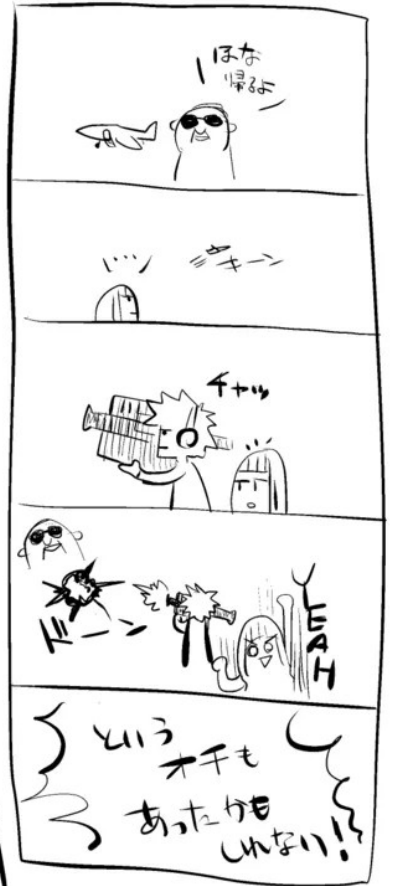
食べるタイミングない。  
正月か?

それにしてもあつという間の年末。この一年何か出来ましたか？ 僕は出来てません。 **IFまんが**  
やりたかったことは色々あったんですけどね。あきまへんな。  
来年はあれやこれやと考えている物の、果たしてどれだけできるやら。  
でもまあ人間ってそんなモンですよ。  
楽しく生きていけたら良いです。

そんな感じです。

この本を手にとってくださった全ての方に感謝を。  
機会がありましたらまた次回。  
それでは。

ドラクエ2  
クリア直前で  
止まってる



## 天国に一番近い島

2025年 12月31日 発行

【著者・発行者】ミヤサカタカジ

シチテンバットウホームページ <http://takaji.sakura.ne.jp/>  
連絡先 takaji-78@takaji.sakura.ne.jp

【印刷】株式会社 栄光

【Bluesky】@takaji78.bsky.social  
【Fantia】<https://fantia.jp/fanclubs/3112>  
【FANBOX】<https://miyasakatakaji.fanbox.cc/>  
【Pixiv】<https://pixiv.me/takaji>  
【ニジエ】<https://nijie.info/members.php?id=2129>  
最新情報や作品の閲覧ができます。



エライイ  
ぜんぜん  
おっかない



この本の18歳未満の閲覧・購入は禁止です。  
この本の無断での使用・転用・再配布・インターネット上へのアップロードは厳禁です。

この物語はフィクションです。登場人物・団体・事件等は全て実在のものとは関係ありません。



2025.12.31  
シチテンバットウ